



第14回日本クリティカルケア看護学会学術集会 ランチョンセミナー1

イマドキの学生・新人・若手を育てる —成果の出る授業・研修はどうあるべきか—



演者

浅香えみ子 先生

獨協医科大学埼玉医療センター

座長

伊与 恭子 先生

日本医科大学付属病院

日程： **2018年6月30日(土)** 12:10-13:10

会場： **タワーホール船堀 5階小ホール 第2会場**

<講演概要>

イマドキという昔からある若手の特性は、嘆くより学習者特性として理解すると授業・研修設計がストレスフリーになるかもしれません。イマドキに表されるガツガツしていない、怒られ慣れていない等は、学習成果を出すうえでどのような問題なののでしょうか？イマドキ特性に対応してきた結果は成果に繋がっているのでしょうか？育てる側が若手だった頃とは異なる特性を教授設計の条件と位置づけ、イマドキであれ何であれ、成果を手に入れることを目的として、その手段・計画をInstructional Designを基に考えます。

本学術集会・ランチョンセミナーは整理券制です。整理券は、セミナー開始後に無効となります。

《配布場所》 タワーホール船堀 2F ロビー

《配布時間》 6月30日(土) 8:45~11:40

共催 第14回日本クリティカルケア看護学会学術集会
レールダル メディカル ジャパン株式会社



Laerdal[®]
helping save lives